まちの話題

元気で大きくなってね 葛巻小児童が稚魚放流

イワナなどの稚魚を放す葛巻小児童

上馬淵川漁業協同組合（稲葉暉組合長）は10月4日、葛巻町から一戸町までの馬淵川に稚魚を放流しました。葛巻町内には14カ所、300㌔㌘のイワナとヤマメを放流。そのうち、浦子内地区の大橋付近では、葛巻小（長谷川滋校長）の1、2年生66人が約40㌔㌘の稚魚放流体験をしました。児童は、バケツに2、3匹ずつ移された稚魚に「元気で大きくなってね」と声を掛けながら、そおっと川に放し、泳ぎの行方を見守りました。

同組合の山下精之さん（76歳・新町）は「小さいうちから川に親しむ体験をさせ、釣りや自然に対する興味を広げてほしい」と願っていました。

世代を越えて踊りの輪 森風の仮装パーティー

10月の子どもオープンデーは14日、上外川の森と風のがっこうで開かれ、参加した20人の子どもたちは、高齢者の学習グループ「ふれあい教室（藤岡百合会長）」の33人と一緒に、森風まつりを楽しみました。

午前は、おばあちゃんたちに教わりながら「ひっつみ」づくりに挑戦。油揚げや鶏肉、かぼちゃ、芋の子を使った4種類のひっつみを食べ比べました。

午後は、仮装お化けパーティー。持ち寄った衣装やビニール袋などを身にまとい、みんなで披露し合いました。最後は、総勢約70人が輪になってモウモウ音頭。世代を越えて心温まる1日を過ごしました。

班ごとにお化けや魔女に変身！円内はモウモウ音頭で盛り上がる参加者

町民総合体育大会

スポーツの秋を満喫 中部Aが中期を制す

第二十二回町民総合体育大会の中期競技と第十四回町民スポーツ・レクリエーション祭は十月一日、町総合運動公園で行われました。絶好の秋日和の中、約三百五十人がペタンクほか三種目のニュースポーツを楽しみました。

競技の結果、中期は中部A地区体育振興会が四十点を獲得して優勝。総合成績では、前期に同点で並んでいた北部地区を抜き、中部A地区が四点差でリードしています。

ペタンク競技

第22回葛巻町民総合体育大会得点表

種目			中部A	北部	西部	江刈A	中部B	江刈B
前期	390歳ソフトボール		12	8	6	10	4	2
	ファミリーバレーボール	1部	10	8	4	12	6	2
		2部	6	12	8	2	10	4
	小計		28	28	18	24	20	8
中期	ティーボール		8	12	10	4	2	6
	ペタンク		12	8	8	10	2	4
	ゲートボール		12	12	6	8	4	2
	グラウンドゴルフ		8	4	12	6	10	4
	小計		40	36	36	28	18	16
中期競技までの成績		総得点	68	64	54	52	38	24
		順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位

森林の恵みを生かそう フォーラムで活動報告

子どもにも分かりやすい紙芝居で地球温暖化防止を呼び掛ける環境パートナーシップいわての活動報告

くずまき高原森林の恵みフォーラム（葛巻町森林組合主催）は10月7日、ふれあい宿舎グリーンテージで開かれ、4人の実践活動をもとに、町民など約100人が多面的な機能を持つ森林資源の日常的な利活用などについて考えました。

今年5月、町内に「企業の森」を設置した藤島建設（本社埼玉県）の佐藤善之社長は「住宅によるCo^2 削減への取り組み」について報告。NPO環境パートナーシップいわての渡辺彰子副代表は、紙芝居で環境の大切さを問い掛けました。町農林環境エネルギー課職員は「葛巻町木質バイオマス利用の現状と将来展望」について報告し、住田町職員とともに今後の林業の可能性を探りました。

同日は、江刈川地内に2カ所目の企業の森を設置した小岩金網株式会社（本社東京都）と町、町森林組合の3者で森林保全管理協定が結ばれました。

学習発表みんなが主役 地域とともに吉ケ沢小

吉ケ沢小(佐藤晃校長、児童10人)は10月22日、地域の人たちも初めて参加し、学習発表会を開きました。

小屋瀬さんさ太鼓の皆さんや吉ケ沢児童館の吉田隼人くんの踊り、同地区の中学生8人は「吉ケ沢熱血どっこいソーラン」を披露。息の合った力強い中学生の踊りには、会場からアンコールがかかりました。

全校劇「西遊記」は、職員や地域の人も参加。児童はアドリブを交え、役になりきった迫真の演技で、観客から盛んな拍手を浴びました。今年は、英訳した校歌も中学生と一緒に歌いました。最後に、児童全員が一列に並び、観客に向かって「これからもチャレンジ精神を忘れずにがんばります」と元気よく誓いました。

全校児童が一生懸命演じた「西遊記」。体育館には児童や地域の皆さんの作品も並べられました

小中・町民駅伝大会

58チームが記録に挑戦 全力でたすきをつなぐ

九月二十九日、平成十八年度葛巻町小中学校駅伝大会と第十二回町民駅伝大会が開かれ、小学生から一般まで五十八チームが参加しました。昨年から葛巻小グラウンドを発着点とする小学生約二㌔、中学生以上約三㌔の周回コース。各チームの選手は、沿道の温かい声援を受けながら、五人でたすきをつなぎ、記録に挑戦しました。

各部門の優勝チームと区間賞は、次のとおりです。

■優勝　（　）内は出場チーム数

▼小学校男子(9)…葛巻小A 37分33秒▼小学校女子(7)…葛巻小A 40分08秒▼中学校男子(21)…葛巻中53分46秒▼中学校女子(15)…江刈中陸上部1時間3分56秒▼高校・一般の部(6)…葛巻高校野球部58分00秒

■区間賞　▼小学校男子…横道竜也（葛巻小A）7分05秒▼小学校女子…大峠ひとみ（五日市小）7分40秒▼中学校男子…吉沢智樹（葛巻中）10分21秒▼中学校女子…打野里奈（江刈中陸上部）11分17秒▼高校・一般…本宮隆良（役場）10分30秒

※中学校男子のほかは、すべて新記録です。

小学校の部スタート